

議会報告会 質疑・意見一覧

整理 番号	質疑・意見	回答	委員会
1	西尾市方式PFI事業のその後について、賠償問題について議会としてどの程度、進捗具合を把握しているか。執行部への問い合わせを議会として行っているか。年度予算に非常に大きなウェイトを占めると見込まれる。	<p>本件については、SPCからの請求金額をめぐり現在裁判が進行中である。提訴からすでに1年が経過しているが、一審判決までには2～3年程度を要する見込みである。さらに、上告された場合には、より長期の期間が必要になると見込まれる。</p> <p>議会としては、現時点では裁判の推移を注視している段階である。</p> <p>また、新たな動きがあった際には速やかに議会へ報告するよう、執行部に対して要請済みである。</p>	企画総務 委員会
2	特別職等の給与引き上げの議案について、賛成多数可決となっているが、もう少し詳しく説明して。	<p>今回の議案は、市長・副市長・教育長といった特別職3名だけでなく、公平委員会、農業委員会、選挙管理委員会など、85の委員会に所属する委員にも関係する、非常に広範囲に影響を及ぼす内容である。</p> <p>特別職の給与改定については、第三者機関である報酬審議会に諮問し、その答申に基づいて決定する制度となっている。これまで、審議会からの答申を否決した例はなく、審議会の委員は各種団体の代表や市民代表など、有識者で構成されている。制度として捉えるべきであり、感情で判断を変えるべきでないと考えている。</p> <p>今回の答申は、市の財政状況を十分に踏まえたうえで示されたものと考えられる。具体的には、人事院勧告の2.8%増に対し、1.4%増に抑えた内容となっており、財政への配慮が見られる。</p> <p>これらの点を総合的に判断した結果、議案は賛成多数で可決されたものと理解している。</p>	企画総務 委員会
3	消防団は、地域防災力の要と言われるが、幡豆郡3町と合併後、このような状況になった主な原因は。	<p>主な要因としては、以下の点が挙げられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> •少子高齢化による担い手不足 •会社員化（ダブルワーク）の進行による時間的余裕の減少 •地域のつながりの希薄化 <p>これに加えて、消防操法に代表される厳しい訓練、長年続く慣習的な活動、夜間の飲み会など、活動負担の大きさが敬遠されていることも背景にある。</p>	企画総務 委員会

議会報告会 質疑・意見一覧

整理 番号	質疑・意見	回答	委員会
4	消防団員確保について、吉良町内においては、団員が新団員を探す仕組みになっているが、無理が生じている。交通指導員のように町内会からの人選はできないか。	<p>消防団員の確保は深刻な課題であり、団員減少に対応するため、以下のような対策を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> •処遇改善（報酬引上げ）。令和3年度から報酬基準が改正され、年額報酬や出勤報酬が明確化された。 •活動負担の軽減、訓練の簡素化や、職場環境に配慮した制度（消防団応援の店など）の推進。 •女性や若年層の積極的な採用 <p>ご指摘の「町内会からの人選」についても取り組んでいるが、世代間の価値観の違い（ジェネレーションギャップ）などから、実際にはなかなか難しい状況であると聞いている。</p> <p>議員としても、地元で適任者がいないか、日頃から声掛けを行っているところである。</p>	企画総務 委員会
5	災害対応システム導入の適用（活用開始）の時期は。各町内会への周知予定は。また、校区自主防災会の対応などのマニュアルを各防災会に伝えてほしい。	<p>災害対応システムの適用時期については、令和8年度内のできるだけ早い時期の運用開始を予定している。気象情報の一元管理や、避難情報・災害情報の集約・整理を徹底することで、対応漏れを防ぎ、市民の安全・安心を最優先に確保する方針である。</p> <p>災害時の市民への情報伝達手段としては、防災無線、防災アプリ、テレビ画面表示（Lアラート）などを活用しているが、新システムの導入により、より効率的かつ迅速で正確な情報伝達が可能になると報告を受けている。</p> <p>ついでには、校区自主防災会におかれては、災害時に入手した情報を基に、適切な防災行動に努めていただきたい。</p>	企画総務 委員会
6	解体3施設の跡地について、今後の利活用はどのようなか。	<p>現在把握している内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> •旧一色支所 令和8・9年度に解体工事を実施する。その後、屋内温水プール整備基本構想に基づき、市民温水プールを建設し、令和12年の供用開始を目指す。 •コミュニティ公園体育館および管理棟 令和8・9年度に解体工事を行い、その跡地については、公園としての整備を順次進めていく。 •中央ふれあいセンター 令和8年度に解体を行い、跡地は生涯学習センターの駐車場として整備する。 	企画総務 委員会

議会報告会 質疑・意見一覧

整理 番号	質疑・意見	回答	委員会
7	4月から市役所が9時から16時までとなったが、市民の声はどうか。	<p>運用当初は、かなりご迷惑をおかけしたが、職員が丁寧にご説明し、ご理解いただけるように対応したことにより、周知の徹底を図ることができていると報告を受けている。</p> <p>1月から試験運用をして市民アンケートを実施している。その中での市民の声は以下のようなものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事帰りによることができなく、休みを取っていかないといけない。 ・時間が変わっていることを知らずに、閉まっていた。 ・午後4時に閉まるのは早い。 ・仕事の始まる前や仕事終わりに利用できなくなった。 ・16時以降に電話が掛けられなくなった。 ・以前の時間がいい。 ・平日1日休みにして、土日のどちらかを開けてほしい。 ・時間短縮に賛成。 ・時間短縮はよい取り組み。社会的にそういう傾向にあるし、全国的な流れ。 	企画総務 委員会
8	障害者扶助料の議案、理由の説明を議会の初日に言わず採択されました。市民に知られないように、こっそり通そうとした案ですか。	<p>議案については、所定の手続に従い、本会議で上程され、厚生環境委員会へ付託され、委員会・分科会で質疑を行ったうえで審査された。したがって、制度上は正式な議会手続に基づいて審議されたものである。</p> <p>一方で、今回のように生活に直接関わる制度見直しについて、「説明が足りない」「知らされていない」と市民の皆さまが感じられたことは、非常に重要なご指摘であると考えている。</p> <p>委員会としては、特に障害者扶助料のような制度改正については、議会内での審査だけでなく、対象者、家族、関係団体、相談支援事業所、特別支援学校などにも分かりやすく伝わる周知が必要であると考えている。</p> <p>今後、当局に対して、通知方法、説明資料、相談窓口、関係機関への情報共有について、より丁寧な対応を求めている。</p>	厚生環境 委員会

議会報告会 質疑・意見一覧

整理 番号	質疑・意見	回答	委員会
9	障害者扶助料について廃止、減額はほとんど知られていません。特別支援学校でもほとんど知りません。やり直してください。	<p>周知が十分でないとのこと指摘は、重く受け止める。</p> <p>今回の見直しは、令和8年4月1日からの適用とされ、4か年の激変緩和措置が予定されているが、制度が可決された後であっても、対象者に十分伝わっていなければ、実生活への不安や混乱が生じ得る。委員会としては、当局に対して、個別通知だけでなく、関係団体、学校、相談支援事業所、福祉サービス事業所などを通じた丁寧な周知を求めていく必要があると考える。</p> <p>また、改正後に生活上の困難が生じた場合には、扶助料だけでなく、障害福祉サービス、相談支援、生活困窮者支援などにつながる体制が重要である。制度の実施状況と影響について、今後も確認していく。</p>	厚生環境 委員会
10	生活保護等、生活弱者への補助は大切です。しかし不正受給は許せません。昨年度の不正受給者数、金額、警察への告発者数は把握しているか。また外国人は受給しているのか。市議は知っているのか。外国人の市民病院の医療費の不払いの件数、または金額は。	<p>外国籍の方に関する受給状況や割合については、今回の議会報告会資料には具体的な数値が示されていないため、この場で委員会として正確な人数や割合を断定してお答えすることはできない。</p> <p>ご指摘の外国籍の方の生活保護等の受給状況、市民病院における医療費未収金の状況については、正確な統計を当局に確認する必要がある。委員会としても、市民の皆さまに誤解が生じないように、制度の公平性、適正な運用、未収金対策について、必要に応じて確認していく。</p>	厚生環境 委員会
11	2024年12月に発生した母子の無理心中事件に対する今後の対策。母親へのメンタルケアなど新たに検討しているサポート等があれば教えていただきたいです。受動型ではない支援体制が望ましいと考えます。	<p>大変重いご意見として受け止める。個別の事案については、個人情報や関係者への配慮から詳細に申し上げることはできないが、孤立、子育て不安、精神的な不調、生活困窮、障害、家庭内の複合的な課題に対して、行政が待ちの姿勢ではなく、早期に気づき、関係機関が連携して支援につなげる体制が必要である。</p> <p>令和8年4月からは、制度の狭間で複雑化・複合化した困りごとを受け止める窓口として、「つながりの輪サポートステーション」（通称：つなサポ）が開設される。</p> <p>委員会としては、つなサポが単なる相談窓口にとどまらず、保健、福祉、子育て、教育、医療、地域の関係機関と連携し、必要な場合にはアウトリーチ、つまり支援者側から働きかける体制につながるよう、実施状況を確認していく。</p>	厚生環境 委員会

議会報告会 質疑・意見一覧

整理 番号	質疑・意見	回答	委員会
12	昨年、一色老人福祉センターの機能移転の検討をされたが詳細はどのようなか。	<p>一色老人福祉センターについては、令和10年度からの機能移転を計画している。</p> <p>大広間や和室などの交流機能は、子育て・多世代交流プラザ2階の和室・談話室などへ移転し、高齢者用の無料貸室として活用する予定である。</p> <p>浴室や機能回復訓練室は廃止の方向で、総合福祉センターの利用を案内する計画である。</p> <p>ゲートボール場については、一色町内で代替利用できる場所を検討している。</p> <p>委員会としては、利用者への丁寧な説明、移動手段、利便性の確保について、引き続き確認していく。</p>	厚生環境 委員会
13	環境事業所（貝吹町）の奥側、当初は埋め立て終了後に「公園にする予定」との話を聞きましたが、今後の活用計画を聞きたい。	委員会としては、対象施設や跡地が確認でき次第、現在の検討状況、今後の活用方針、地域説明の予定について確認していく。	厚生環境 委員会
14	ゴミの運搬処分費は全て税金。ゴミをたくさん出した人にたくさんの税金が使われている。この点を議会はどのように考えるか。	<p>ゴミの収集・運搬・処分には多くの税金が使われており、ゴミを多く出すほど行政コストがかかるとい側面がある。そのため、市としては受益者負担の観点から、指定ごみ袋の有料化やクリーンセンター利用料の見直しなどを行っている。</p> <p>また、分別を細分化することで資源化を進め、ごみ総量そのものを減らす取組にも力を入れている。</p> <p>一方で、ごみ行政は市民生活に直結するため、負担だけを求めるのではなく、市民理解と協力を得ながら進めることが重要だと議会としても考えている。今後も丁寧な説明と周知を求めていく。</p>	厚生環境 委員会
15	障害者扶助料の減額について、手当をカットしても障害は良くならない。生活が苦しくなり生きづらさを感じるだけである。本当ならもっと手厚くして安心できる生活を実現するのが行政の役目ではないでしょうか？	全体のバランスを見ると、社会福祉に関する市の負担が年々大きくなってきており、障害者の部分だけ負担が大きくなって良いものかという点などを勘案し、この4年間の緩和措置で市議会としても賛成をした。ただし、これで決まったというわけではなく、しっかりと激変緩和措置の間も扶助料の減額がなるべく少なくなるよう皆様のお声を頂きながら行政との調整をしていきたい。	厚生環境 委員会

議会報告会 質疑・意見一覧

整理 番号	質疑・意見	回答	委員会
16	市民病院の経営形態の見直し、新病院建設に向けたタイムスケジュールに関して、執行部との連携を含めイニシアティブを取るつもりはありませんか。	有識者で構成される西尾市民病院あり方検討委員会がある。議会としては委員会に任せきりにせず、検討の進捗や議論の内容の情報開示をしてもらえるよう働きかけていく。また、厚生環境委員会への報告を適時していただくよう求めていく。	厚生環境 委員会
17	にしおマラソンに1億2000万円。5年間は「やってみなはれ」でいいが、5年経過後に一度総括をし、再検討すべきではないか。1億2000万円は大きい。子どもたちのために使いたいものだ。議会としてどのように考えるか。	西尾市議会としては、にしおマラソンについて、予算審議や決算審査の中で、事業内容や費用対効果を毎回精査しながら議論を行っている。その中では、事業を評価する意見がある一方で、財政面などから慎重な意見もある。 スポーツには「する」だけでなく、「観る」、「支える」といった関わり方もあり、にしおマラソンは、市民ボランティアをはじめ、多くの方々に支えられている大会となっている。 また、第4回にしおマラソンでは、全国46都道府県、さらには4つの国と地域から参加があり、西尾市の魅力や特産品を市内外へ発信する機会にもつながっている。 議会としては、こうした効果や市民の皆様の声を踏まえながら、市民理解や財政面とのバランスについて、今後も適切に議論・検証していくべきものと考えております。	文教交流 委員会
18	給食無償化にすることで給食の質を下げたことに懸念を抱いている。育ち盛りの子供たちには安心な地元食材、農薬を使わない無添加など健康な体になってほしいと思っているが、無償化と言っても税金なので質や予算など削減されてしまわないか。	310円から330円、20円増額して質を下げないようにしているので安心してほしい。 地元食材については、西尾市は地元食材を積極的に採用しており、例えば昨年度だと西尾小麦を取り入れたりしている。良い作物を育てて地元で消費していく取組はしっかり進んでいる。ただし、無農薬の作物はどうしても生産量が少なくなる。生産者の方々が連携してある程度まとまった量を提供していければ西尾市の給食はもっと良くなっていけるので、安心していただきたい。	文教交流 委員会
19	公共施設はものによっては建物を建てず、既存の商業施設を利用すればいいものもある。多くの自治体では子育て支援課や教育委員会は商業施設に置き、市民の利便性を図っているところもある。	こういった考え方は重要だと考えている。次の委員に継承していきながら、既に取り入れられているところに行政視察に行き、どういった課題があるのかを学んでいきながら担当課に検討してもらえるように提言をしていきたい。	文教交流 委員会

議会報告会 質疑・意見一覧

整理 番号	質疑・意見	回答	委員会
20	<p>空き家等～委託料931万円とあるが、調査委託料だけで931万、1千万近くもかかるのか。</p> <p>本当に1,000万円近くも使って空き家等を減らすことができるのか。</p>	<p>ご質問にある「1,000万円近くかけて空き家を減らせるのか」という点については、以下のような考え方で取り組んでいる。</p> <p>まずその空き家が誰の所有で、そのような状態かを正確に把握する必要がある。この調査で得られた台帳やGISデータは、所有者への適切な助言・指導や、利活用を促すための必要不可欠な基礎資料となる。データに基づいた優先順位をつけることで、限られた予算を最も効果的な空き家削減対策に投入していく。</p>	経済建設 委員会
21	<p>農業、漁業従事者の高齢化や減少について新たな取組計画があればお聞かせください。また「いちごスクール」、「いちじくスクール」等の効果についてもお聞かせいただければと思います。</p>	<p>農業・漁業従事者の高齢化や減少への対策について、農業関係では令和7年度に新規就農に興味のある方を対象に新規就農ツアーを行い、9名の方が参加された。令和8年度以降も継続していく予定をしている。</p> <p>また、JA西三河が主催する「いちごスクール」、「いちじくスクール」、「農業塾」の研修事業に対して、補助金等の支援を行っている。加えて国や県の各種補助金制度の活用に向けた調整、申請受付、実施支援を行っている。これらの取組を踏まえ、令和3年度～令和7年度で合計24名の認定新規就農者を輩出している。</p> <p>漁業関係では、令和6年度から新規漁業就業者育成事業として、底引き網漁業を生業としている漁協組合員に対し、新規漁業就業者の雇用時に支援を行っている。令和6年度～令和8年度現在で合計4名に対し、支援を行った。今後は、操業する漁業の種類（のり養殖関係）を拡充していくことも計画している。</p>	経済建設 委員会
22	<p>外国人からの要望はどんなことがありましたか。</p>	<p>地域つながり課において外国人相談窓口を設置しておりますが、相談内容のほとんどが税金や子育てなど、日常生活に関することであり、外国人個人が直接要望をその場でされたことはありません。</p>	経済建設 委員会
23	<p>雨水対策マスタープランの取りまとめ、完成までのタイムスケジュールはどうなっているのでしょうか。</p>	<p>雨水対策マスタープラン策定委員会が開催され、これからどのように整備を行っていくかの方向性を来年の3月までに決めていく。完了まではまだ時間がかかってしまうが、策定委員会をしっかりと注視していき、お困りの声があれば議会などで届けていきたいと考えている。</p>	経済建設 委員会

議会報告会 質疑・意見一覧

整理 番号	質疑・意見	回答	委員会
24	雨水対策マスタープランについて、なぜ佐久島を除くのですか。	今のところ佐久島における浸水被害の報告がないため。	経済建設 委員会

※当日回答した質疑と同趣旨のものは割愛をさせていただきました。